

勤務時間の見直し



有限会社 ユニティー

【所在地】糸満市
【職種】医療・福祉
【事業内容】通所介護事業、有料老人ホームの運営
【従業員数】43人(うち非正規24人)

INTERVIEW



課題

PROBLEM

人員不足のため、無理なシフト体制に。時間外労働を削減し、勤務時間の偏りを解消したい。

介護施設はどこも同じだとは思いますが、当施設も人員不足のため無理なシフトになってしまい、従業員の時間外労働の改善が必要でした。働きやすい職場に必要なものは何か従業員にも話を聞いて参考にし、新しい従業員を募集してはいるのですが、応募も少ないうえになかなか定着せず、増員には結びついていませんでした。

おかげさまで入所利用者は満床以上のため、それに対応できる人員を配置しなくてはなりません。この機会に長時間労働の解決方法を見つけ、勤務時間や就業規則を見直したいです。



取り組み

ATTACH

課題解決のために、シフトの組み方や業務スキルを確認。技術向上のための研修会などを開く。

一番の課題が夜間の居室サービスのシフトでした。そこで、現在のシフトの組み方や各従業員の業務スキルを確認しました。

デイサービスとの連携や就業時間の制限がある従業員との調整などにより、業務に偏りが発生。労働時間や休日のルールについての基礎知識がない従業員も多いため、勉強会を実施しました。働き方に対するあるべき姿を認識してもらい、従業員の意識改革を行いました。

介護の質の向上を図って仕事を効率化するため、技術的な研修を行いました。



実際に体験された皆さんの声を聞きました。



利用した担当者の声

取締役・生活相談員
上地 直美 さん

人員不足は仕方ないと諦めて、トラブルがあった時は私に対応するのが当たり前になっていました。今回の取り組みは、従業員はもちろん、私自身の意識改革になったことが大きかったです。



アドバイスした専門家の声

社会保険労務士
名城 志奈 さん

人不足によりシフトを組むことが負担のため、従業員向け勉強会を開催し、効率的な人員配置ができるよう業務の質向上や効率化に試んでおり、働きやすい職場作りに取り組んでいます。



成果

技術向上への取り組みと業務の担当制により、意識改革&シフト改善を実現。

RESULT

「今いるメンバーで、労働時間を減らすために取り組めること」をテーマに、従業員たちでグループディスカッションを実施しました。具体的な解決策を話し合ったところ、「一人一人のスキルアップ」「気づきを持って、お互いに助け合いながら業務を行う」などの意見が挙がりました。この結果も参考にし、さまざまな解決策を模索しました。

仕事量に偏りがあるため、それぞれの業務を担当制にして実施者がサインすることにしました。これにより個人の責任感が出て積極的に動くようになり、仕事量を平均化することができました。

業務の効率化を図るため、おむつの正しい使い方、作業療法士によるユマニチュード研修など、技術向上のための勉強会を行いました。このおかげで個人のスキルが向上し、トラブルが減少。余分な人員を配置する必要がなくなり、少ない人数でも無理なくシフトを組めるようになりました。

勤務時間の短縮や担当業務の拡大など、従業員



それぞれの希望を確認し、勤務時間を見直しました。ヒアリングの結果を踏まえ、これまでより人員を減らしてシフトを組んでみましたが、今回の取り組みをきっかけに従業員の意識が変わり、責任感を持って動いています。

今後、マニュアル通りにいかない時、どのように対応したら良いのかそれぞれが考え、気づきを持って動けるようになればと期待しています。

